

# 環境経営レポート

2023年度

(対象期間)2022年10月1日～2023年9月30日



本社工場



今市場工場



小牧村中工場



小牧オフィス



エコアクション21  
認証番号0008767



株式会社ナカヤマ工業

愛知県江南市曾本町幼川添206番地

発行年月日

2023年12月8日

## － 目 次 －

環境経営方針	-3-
1. 会社概要	-4-
2. 対象範囲/活動規模/事業内容	-4-
3. 実施体系	-5-
4. 環境経営目標(2021年からの3ヵ年目標)	-6-
5. 環境経営目標/2023年実績	-7-
6. 環境経営計画の2023年度取組結果	-8-
7. 環境関連法規制等の遵守評価記録	-9-
8. 環境活動報告	-10-
9. 次年度中期目標(2024～2026年度)及び2024年の取組について)	-11-
10. 代表者による全体の評価と見直し記録	-13-

# 環 境 経 営 方 針

## <環境基本理念>

株式会社ナカヤマ工業は、地球環境保全への積極的な参加をモットーとし、当社の各事業分野の活動において、経済活動と地球環境保全の調和を目指し、持続的に発展できる経済社会の実現に寄与します。

## <行動指針>

当社の事業活動を通じて地球環境保全と環境負荷低減に積極的な対応を推進するため、以下の具体的な行動指針を定め、継続的な活動を実施します。

そのため、事業活動が環境に与える要因を的確に把握して、当社にふさわしい環境マネジメントシステムの構築をし、継続的改善により、環境汚染の予防と環境保全に努めます。

1. 関連する環境法令、規則、条例と当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 電力・自動車燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
3. 廃棄物を削減し、再生利用を推進します。
4. 水使用量の節減に取り組めます。
5. 化学物質の適正管理に取り組めます。
6. 備品・事務用品のグリーン購入を推進します。
7. 製品検査業務で、不良品検出精度の維持向上を図り、環境負荷低減に努めます。
8. フッ素樹脂塗料の回収・再利用による環境負荷低減に努めます。
9. 環境教育を通じて従業員の環境への意識向上を図り、自らが責任を持って環境保全に取り組めるよう支援します。
10. 社会的な環境活動に積極的に参加します。

この環境経営方針は、全従業員に周知するとともに広く一般にも公表します。

制定年月日2011年11月22日  
改定年月日 2022年9月21日  
株式会社ナカヤマ工業 代表取締役  
中山恭徳

## 1. 会社概要

- ① 名称 株式会社ナカヤマ工業  
 ② 代表者名 代表取締役社長 中山 恭徳  
 ③ 環境管理責任者 管理本部長 稲元 佳明  
 ④ EA21事務局 担当者 管理本部 環境安全チーム 鈴木 宏明  
 連絡先 tel : 0587-56-3353 fax : 0587-56-2070
- ⑤ 資本金 1,000万円
- ⑥ 事業規模(年間売上高) 24.7億円 (2022年10月～2023年9月)
- ⑦ 事業年度 10月～9月
- ⑧ 会社沿革
- 1961年 合資会社中山木具工業所として会社設立  
 1992年 愛知県江南市に今市場工場設立  
 1995年 株式会社ナカヤマ工業に名称変更  
 1999年 大垣事業所(イビデン株式会社大垣工場内構内請負業務)開始  
 2003年 小牧事業所(日本特殊陶業株式会社小牧工場内構内請負)業務開始 (2021年終了)  
 2004年 岐阜六条工場設立 (2012年閉鎖)  
 2006年 一般労働者派遣の認可取得  
 2010年 犬山事業所(村田機械株式会社犬山事業所内構内請負業務)開始  
 2012年 中津川事業所(株式会社愛工機器製作所中津川工場構内請負業務)開始  
 2012年 小牧村中工場設立  
 2014年 イースタン株式会社中大塩工場構内請負業務開始(2016年終了)  
 2016年 新潟事業所(凸版エレクトロニクスプロダクツ(現:TOPPAN株式会社)新潟工場構内請負業務)開始  
 小牧オフィス設立  
 2023年 ホールディングス化予定(2023年10月～)

## 2. 対象範囲/活動規模/事業内容

### ① 対象範囲

(対象組織)

事業所名	所在地
本社工場	愛知県江南市曾本町幼川添206番地
小牧村工場	愛知県小牧市村中554-1
今市場工場	愛知県江南市今市場町秋津32番地
小牧オフィス	愛知県小牧市中央1-186 2A

(対象外組織)\* 請負契約先のEMSに基づき活動しています。

事業所名	所在地
大垣事業所	岐阜県大垣市木戸町905
犬山事業所	愛知県犬山市橋爪中島2
中津川事業所	岐阜県中津川市茄子川1646-38
新潟事業所	新潟県新発田市五十公野5270

### ② 活動規模(対象組織4部署)

事業年度 期間	2020年 2019/10～2020/9	2021年 2020/10～2021/9	2022年 2021/10～2022/9	2023年 2022/10～2023/12
売上高 (百万円)	441	626	711	696
従業員数 (2023年9月度)	55	64	61	64
床面積 (㎡)	3,271	3,271	3,271	3,271

### ③ 事業内容

めっき治具メンテナンス  
(本社工場)



フッ素樹脂コーティング  
(小牧村中工場)



電子基板・自動車部品の外観検査  
(今市場工場)



人材派遣事業(小牧オフィス)

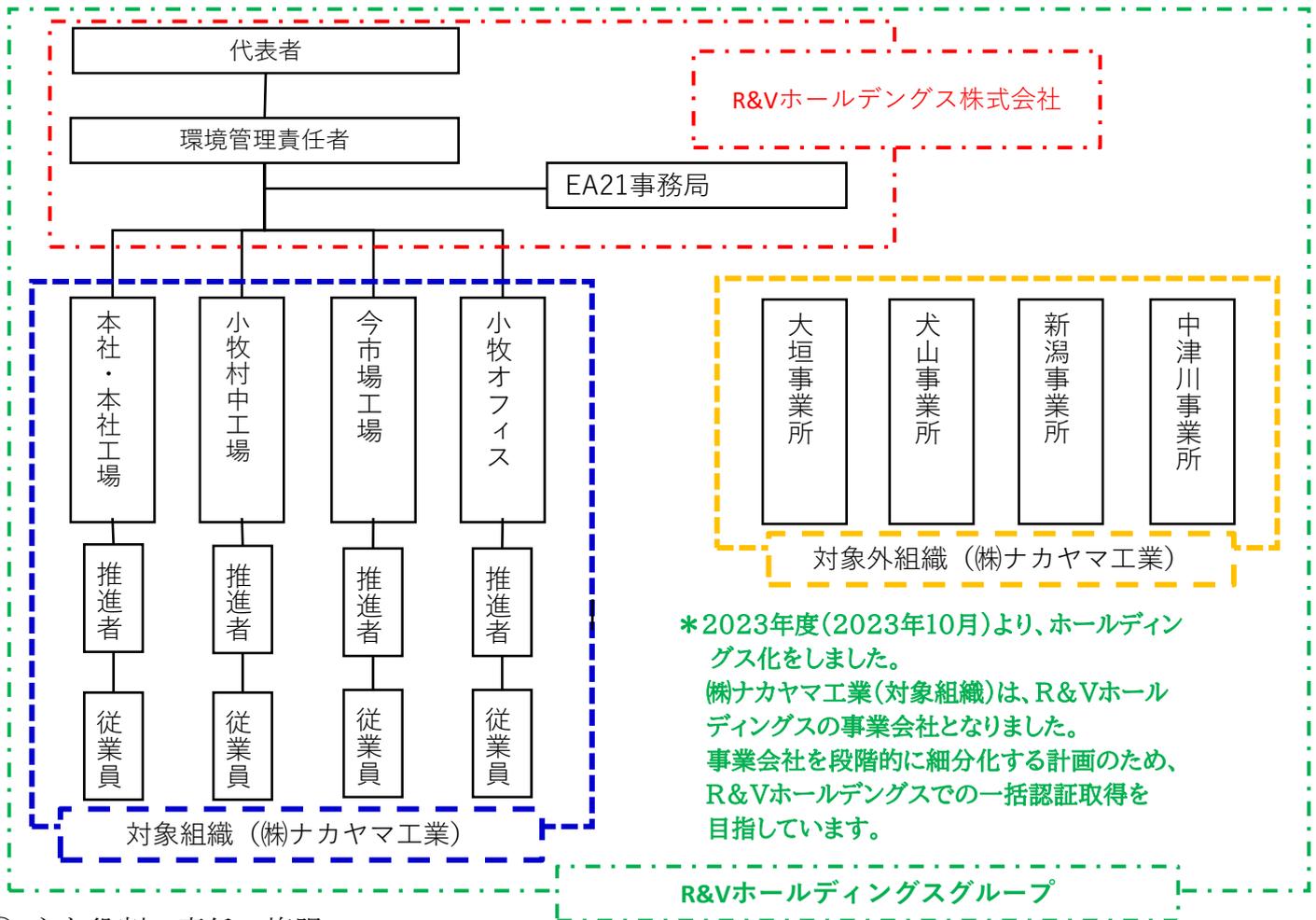
構内作業請負(対象外組織)

### 3. 実施体系

### E A 2 1 実施体制図及び役割・責任・権限表

更新 2023/10/1

#### ① 実施体制図



#### ② 主な役割・責任・権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者/事務局/対象組織/対象外組織の明確化</li> <li>環境経営における課題とチャンスを整理/必要な経営資源の確保</li> <li>環境基本理念および行動方針の策定・見直し</li> <li>環境経営全般の統括責任</li> <li>環境経営の全体評価と見直し</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期(3ヵ年)の環境負荷削減目標の設定</li> <li>環境経営目標の具体的実施計画の作成並びに代表者への状況報告</li> <li>実施体系および役割・責任権限の明確化</li> <li>環境教育訓練計画作成/実施評価</li> <li>顧客、近隣住民等からの苦情/環境負荷改善のアプローチ</li> <li>EA21管理文書の定期見直し</li> <li>環境経営計画遵守評価に基づく是正アクションの指示</li> <li>環境経営レポートの作成</li> </ul>
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境への負荷の自己チェック表/環境への取組の自己チェック表の取りまとめ</li> <li>適用法令の取りまとめおよび遵守評価</li> <li>EA21管理文書・記録の管理</li> </ul>
推進者	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量/廃棄物排出量/材料消費量の管理及び削減の取組</li> <li>環境教育訓練の実施</li> <li>環境緊急事態対応訓練の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針および推進者が実施する取り組みへの協力</li> <li>環境関連の会社規定の遵守</li> </ul>
対象外組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>請負契約先のEMSの遵守</li> </ul>

#### 4. 環境経営目標(2021年からの3カ年目標)

□ 基準値 □ 目標値(2023年)

				基準値(2020年) (2019/10~2020/9)	目標値(2021年) (2020/10~2021/9)		目標値(2022年) (2021/10~2022/9)		目標値(2023年) (2022/10~2023/9)	
売上高	対象4部署合計	百万円		441	484		462		691	
	内フッ素コーティング	百万円		159	192		220		350	
環境経営方針 (行動指針)	管理項目	単位		基準値 (2020年実績)	目標値	削減率 (原単位比)	目標値	削減率 (原単位比)	目標値	削減率 (原単位比)
① 法令の遵守	環境関連適用 法令の遵守	%		100%	100%		100%		100%	
② 二酸化炭素 排出量削減	電気使用量	使用量	kWh	585,073	635,195	-1%	600,198	-2%	870,838	-5%
		原単位	/百万円	1,326	1,312		1,299		1,259	
	ガソリン使用量	使用量	ℓ	12,111	12,617	-5%	12,044	-5%	17,077	-10%
		原単位	/百万円	27.4	26.1		26.1		24.7	
	軽油使用量	使用量	ℓ	5,777	6,019	-5%	5,745	-5%	8,146	-10%
		原単位	/百万円	13.1	12.4		12.4		11.8	
二酸化炭素 総排出量 (*4)	使用量	t-CO2	335,524	362,381	-1.5%	342,847	-2.4%	496,034	-5.6%	
	原単位	/百万円	760	749		742		717		
③ 廃棄物削減	事業系一般 廃棄物排出量	使用量	kg	2,272	2,467	-1%	2,331	-2%	3,382	-5%
		原単位	/百万円	5.15	5.10		5.04		4.89	
	産業廃棄物 排出量	使用量	kg	1,377	1,495	-1%	1,413	-2%	2,530(*1)	0%
		原単位	/百万円	3.12	3.09		3.06		3.66(*1)	
	特別管理産業 廃棄物排出量	使用量	kg	25,474	25,474	0%	23,830	-2%	34,575	-5%
		原単位	/百万円	52.63	52.63		51.58		50.00	
④ 水使用量の 削減	水道水使用量	使用量	m <sup>3</sup>	296	321	-1%	304	-2%	374(*2)	0%
		原単位	/百万円	0.671	0.664		0.657		0.541(*2)	
⑤ 化学物質の 適正管理	PRTR法指定化学 物質(購入量/使用 量/廃棄量)			12回/年 (月次管理)	12回/年 (月次管理)		12回/年 (月次管理)		12回/年 (月次管理)	
⑥ グリーン 購入推進	事務用品グリーン 購入比率	購入率	%	79%	80%		80%		80%	
⑦ 不良検出 精度維持 向上	客先クレーム 件数	件数	件	15	11		9		7	
⑧ 材料消費削減	新品使用量	使用量	kg	1190(*3)	1,407	-2%	1,595	-3%	2,486	-5%
		原単位	/百万円	7.48(*3)	7.33		7.25		7.10	
⑨ 従業員の環境 意識向上	環境教育の実施			実施	実施		実施		実施	
⑩ 社会的な 環境活動	工場周辺の清掃			実施	実施		実施		実施	
	エコキャップ 回収	回収数	個	3000	3000		3000		3000	

注)

\*1: 基準値を2021年と2022年の平均実績に見直し :: 工場改装に伴う滞留品処分

\*2: 基準値を2022年実績に見直し :: 井水使用廃止(本社)

\*3: 原単位を「フッ素コーティング売上高」で計算

\*4: CO2排出量計算に用いた排出係数

電力: 0.426kg-CO2/kwh(中部電力)、0.501kg-CO2/kwh(日本テクノ)

⇒ 令和元年度実績(R3.1.7環境省・経済産業省公表、R3.7.19一部追加・更新)

ガソリン: 2.32kg-CO2/L、軽油: 2.58kg-CO2/L

⇒ 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(令和元年12月改正)における設定値

## 5. 環境経営目標/2023年実績

			基準値(2020年) (2019/10~2020/9)	目標値(2023年) (2022/10~2023/9)	実績値(2023年) (2022/10~2023/9)		目標達成	年度評価(環境管理責任者)		
売上高	対象4部署合計		441	691			696	○		
	内フッ素コーティング		159	350			205	×		
環境経営方針 (行動指針)	管理項目	単位	基準値 (2020年実績)	目標値	削減率 (原単位比)	目標値	削減率 (原単位比)			
① 法令の遵守	環境関連適用法令の遵守	%	100%	100%		100%		○	順守確認の結果、関係当局よりの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟等はありませんでした。	
② 二酸化炭素 排出量削減	電気使用量	使用量	kWh	585,073	870,838	-5%	697,942	-24%	○	原単位比では基準年(2020年)比20%低減できているが、夏季の電力消費が多い。空調設備の段階的更新を検討します。
		原単位	/百万円	1,326	1,259		1,003			
	ガソリン使用量	使用量	ℓ	12,111	17,077	-10%	12,072	-37%	○	生産金額:前年比106.4%だが、効率輸送の定着により燃料消費は前年比97.8%でした。
		原単位	/百万円	27.4	24.7		17.3			
軽油使用量	使用量	ℓ	5777.03	8146.118422	-10%	5,229	-43%	○	電気、自動車燃料いずれも原単位では削減目標達成しましたが、売上増に伴い総量では増加しました。 *次年度からは、総量削減目標を設定します。	
	原単位	/百万円	13.1	11.8		7.5				
二酸化炭素総排出量(*4)	使用量	t-CO2	335,524	496,034	-5.6%	390,524	-26%	○		
	原単位	/百万円	760	717		561				
③ 廃棄物削減	事業系一般廃棄物排出量	使用量	kg	2,272	3,382	-5%	2,871	-20%	○	排出量目標達成。今期から指標を取り始めたりサイクル率をベースに焼却ゴミの削減を来期以降の取組目標とします。
		原単位	/百万円	5.15	4.89		4.13			
	産業廃棄物排出量	使用量	kg	1,377	2,530		2,504	-2%	○	排出量はほぼ目標どおり。第4四半期から金属ごみ分別→リサイクル(自社持込)により産業廃棄物としての委託処分量を230kg削減できました。委託契約見直しを来季以降の課題とします。
原単位		/百万円	3.12	3.66		3.60				
特別管理産業廃棄物排出量	使用量	kg	25,474	34,575	-5%	26,586	-27%	○	異常廃液の発生なく、スクラパー循環水ライフの延長により廃液排出量を削減できました。	
	原単位	/百万円	52.63	50.00		38.20				
④ 水使用量の削減	水道水使用量	使用量	m <sup>3</sup>	296	374.36	0%	480	62%	×	今市場工場の使用量増加により、目標未達でした。人員増以外の要因を調査し節水管理を強化します。
		原単位	/百万円	0.671	0.541		0.690			
⑤ 化学物質の適正管理	PRTR法指定化学物質(購入量/使用量/廃棄量)		12回/年(月次管理)	12回/年(月次管理)		12回/年(月次管理)		○	購入量/使用量/廃棄量の管理継続します。	
⑥ グリーン購入推進	事務用品グリーン購入比率	購入率	%	0.79	0.8		66.0%	×	事業再編に伴う名刺印刷 他印刷代により、目標を達成できませんでした。エコ名刺導入検討を来季課題とします。	
⑦ 不良検出精度維持向上	客先クレーム件数	件数	件	15	7		4	○	社内教育の充実および予防措置的な改善提案により、社内不適合発見が減少し、重大クレームはありませんでした。	
⑧ 材料消費削減	新品使用量	使用量	kg	1,190	2,486	-5%	1,268	-17%	○	回収品利用について運用標準を整備し、新品使用量を削減することができました。
		原単位	/百万円	7.48	7.10		6.18			
⑨ 従業員の環境への意識向上	環境教育の実施		実施	実施		実施		○	概ね年度計画どおり実施。 次年度以降は、環境一般教育の実施範囲を全従業員に展開します。	
⑩ 社会的な環境活動	工場周辺の清掃		実施	実施	実施	実施		×	今年度はエコキャップ回収数が目標に達しませんでしたので、協会への送付は見送ります。次年度以降も活動は継続します。	
	エコキャップ回収	回収数	個	3000	3000		500			

# 6. 環境経営計画の2023年度取組結果

評価年月日 2023/10/19

○:実施/達成 ×:未実施/未達成

△:一部未実施 -:該当なし

方針	取組項目	担当	適用範囲	具体的活動	実施時期	実施評価
① 法令の遵守	適用法令の見直し	管理責任者	全社	・環境関連法規取りまとめ表の見直し	10月/4月	○
	タスク管理	事務局	全社	・計画タスク作成/納期遵守管理	月次管理	○
	環境測定	事務局	全社	・騒音振動測定	年1回/6月	○
	遵守評価	管理責任者	全社	・排ガス濃度測定 ・上記の遵守評価	月次管理 年1回/期末	○
② 二酸化炭素排出量削減	電力消費量を生産金額比あたりで削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	本社	・本社事務所・営業室の空調温度管理	随時	○
		推進者	本社	・不要時コンプレッサー電源OFF	随時	○
		推進者	村中	・加熱炉稼働計画による効率的生産	随時	○
		推進者	今市場	・無操業検査室の照明OFF	随時	○
		推進者	全社	・昼休憩中の消灯の推進	随時	○
	管理責任者	全社	・省エネ型エアコンへの随時切替	中期計画	○	
	管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎	○	
	自動車燃料消費量を生産金額比あたりで削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	本社	・本社⇄村中運送計画による効率輸送	随時	○
推進者		今市場	・配送計画による効率輸送	随時	○	
管理責任者		全社	・総合評価	四半期毎	○	
③ 廃棄物削減	事業系一般廃棄物排出量を生産金額比あたりで削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	全社	・ごみの分別/記録	月次管理	○
		事務局	全社	・段ボールのリサイクル	月次管理	○
		事務局	全社	・機密文書リサイクル	年1回/12月	○
	管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎	○	
	産業廃棄物排出量を生産金額比あたりで削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	全社	・ごみの分別/記録/manifest管理	月次管理	○
		管理責任者	全社	・委託契約見直し/再生・広域処理業者委託の推進	中期計画	△
	管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎	○	
	特別管理産業廃棄物排出量を生産金額比あたりで削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
推進者		本社/村中	・排出量の記録/manifest管理	月次管理	○	
推進者		村中	・スクラパー循環水ライフ延長	月次管理	○	
管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎	○		
④ 水道水使用量節減	水道水使用量を基準年度比あたりで削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	全社	・節水の啓蒙	随時	△
		事務局	全社	・漏水の点検	年1回	×
		管理責任者	全社	・総合評価	半期毎	○
⑤ 化学物質管理	PRTR法指定化学物質について、購入量消費量・廃棄量を管理する。	事務局	村中	・使用材料のPRTR法該当調査	年1回/期首	○
		事務局	村中	・購入量・消費量・および廃棄量管理	月次管理	○
		事務局	村中	・SDS最新版への更新	年1回/4月	○
		推進者	村中	・購入材料の見直し	中期計画	○
⑥ グリーン購入推進	事務用品のエコ商品購入比率80%以上	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	全社	・エコ対象商品調査/発注の見直し	年1回/1月	△
		管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎	○
⑦ 客先クレームの低減	工程内不適合半減/重大クレーム発生ゼロ	事務局	今市場	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	今市場	・検査員教育	10月/4月	○
		推進者	今市場	・改善提案推奨/件数記録	月次管理	○
		推進者	今市場	・客先品質不適合のフィードバック	月次管理	○
		管理責任者	今市場	・総合評価	四半期毎	○
⑧ 粉体塗料再利用促進	粉体塗料新品使用量を生産金額比あたりで削減	事務局	村中	・パフォーマンス管理	月次管理	○
		推進者	村中	・集塵機からの回収(1/週)	月次管理	○
		推進者	村中	・回収品利用促進(標準書整備)	10月	○
		推進者	村中	・塗装ブースの改良	中期計画	△
		管理責任者	村中	・総合評価	四半期毎	○
⑨ 環境教育	従業員の環境への意識向上	事務局	管理職	・環境問題の現状、環境経営の必要性	5月	○
		事務局	新入社員	・当社の環境活動方針	配属時	△
		事務局	推進者	・環境一般教育	11月	○
		事務局	全従業員	・環境緊急事態対応訓練	9月	○
⑩ 社会的な環境活動	社会的な環境活動	推進者	全社	・会社周辺の清掃活動	年1回以上	○
		推進者	全社	・エコキャップ推進活動	随時	△

# 7. 環境関連法規制等の遵守評価記録

毎年定期的な順守評価の前に制定、改正の確認を行う。普段から規制の動きには注意を払う。

登録簿更新日: 2022/10/26

順守評価の欄:

順守評価日: 2023/10/1

○:実施 ×:未実施 (問題点処置票により解決を図る) - :該当なし

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	対象となる設備、活動等	関連条例等による規制	該当する設備・項目	点検・測定頻度 実施時期	届出・報告・資格				担当部署	順守評価	
						許可	届出 報告	資格	届出先		証拠	判定
大気汚染防止法	・排出基準遵守 ・特定有害物質測定	・加熱炉 ・排ガス処理装置	県民の生活環境の 保全等に関する条例	・法定測定 ・検知管簡易測定	対象外 1回以上/月	-	-	-	-	コーティングT	計量証明書 測定記録表	○ ○
騒音規制法	・特定施設の届出 ・地域別騒音規制 基準の順守	定格出力3.75kWx 以上の空気圧縮機、 プレス機 騒音測定 (本社、今市場、小牧村中)	県民の生活環境の 保全等に関する条例	設備リストに記載	・新設/変更時 ・1回/年(6月)	-	○	-	江南市環境課 -	環境安全T 事務局	新設(有 無) 届出書 騒音測定記録	- ○
振動規制法	・特定施設の届出 ・地域別振動規制 基準の順守	定格出力3.75kW以上 の空気圧縮機、プレス機 振動測定	県民の生活環境の 保全等に関する条例	設備リストに記載	・新設/変更時 ・1回/年(6月)	-	○	-	江南市環境課 -	総務T 事務局	新設(有 無) 届出書 振動測定記録	- ○
消防法	・火を使用する設備等の 設置の届出 ・消防用設備の適切配置 ・(甲種)防火管理者 選任/解任 ・消防計画作成 ・消防用設備機器点検 ・消防用設備総合点検 ⇒点検結果報告	乾燥設備、変電設備 消防用設備配置リスト見 直し 今市場工場 (取容人数50以上) (延床面積500㎡以 上) [本社・今市場・村中] ・消火器具の点検 ・自動火災報知設備の点 検 ・誘導灯の点検 ⇒契約点検業者への依 頼	・江南市火災予防条例 ・小牧市火災予防条例	設備リスト・配置図に記 載 ・消防用設備配置リスト・ 配置図に記載	・新設、変更時 ・1回/年(7月) ・選任/解任時 ・設置時 ・変更時 ・1回/6ヶ月 (2月、8月) ・1回/年(8月) (届出は1回/3 年)	-	-	-	-	環境安全T 総務T	新設(有 無) 届出書 ・消防用設備配 置配置リスト ・防火管理者選 任届 ・消防計画 ・消防用設備等 点検記録 ・消防用設備等 点検結果報告 書	- ○ - ○ ○
浄化槽法	・法定検査(11条検査) ・定期点検 (1回/3ヵ月以内) ・定期点検 (1回/3ヵ月以内) ・定期点検 (1回/4ヵ月以内) ・浄化槽清掃 ・浄化槽清掃 ・浄化槽清掃	環境測定業者へ依頼 浄化槽保守管理 契約業者へ依頼 浄化槽保守管理 契約業者へ依頼		法定年次点検 (11条検査) 本社(21人槽) 今市場(50人槽) 村中(2人槽) 本社(21人槽) 今市場(50人槽) 村中(2人槽)	・1回/年(3月) ・1回/3ヶ月 (1.4.7.10月) ・1回/3ヶ月 (1.4.7.10月) ・1回/4ヶ月 (1.5.9月) ・年1回(7月) ・年1回(7月) ・年1回(9月)	-	-	-	-	総務T 総務T 総務T 総務T 総務T 総務T 総務T	・浄化槽法定検 査結果書 ・浄化槽点検記 録表 ・浄化槽点検記 録表 ・浄化槽点検記 録表 ・浄化槽清掃実 施記録 ・浄化槽清掃実 施記録 ・浄化槽清掃実 施記録	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
毒劇物取締法	・盗難及び紛失の防止 ・劇物の表示	硝酸 (本社 保管庫) 苛性ソーダサービスタン ク (村中)		・施設保管庫での保管 ・施設保管庫での保管	入庫の際 入庫の際	-	-	-	-	コーティングT コーティングT	・安全データ シート ・在庫管理表 ・安全データ シート ・在庫管理表	○ ○
PRTR法	・特定化学物質該当調査 ・特定化学物質の購入、 消費、廃棄量管理	・該当化学物質含有 量調査 ・化学物質使用量管理	愛知県化学物質適正 管理指針 (H15.8.22 告示 第664号)	・水性プライマー ・溶剤系プライマー	・1回/年(4月)	-	-	-	-	コーティングT	・化学物質使用 管理表	○
フロン排出 抑制法	・適切場所への配置 ・第1種特定製品簡易点検 ・第1種特定製品定期点検 ・第一種特定製品廃棄等 実施者の責務 (行程管理制度に基づく適 正処分)	設備配置リストの見直し ・定格出力7.5kW未満 ・定格出力7.5kW~ 50kW の業務用エアコン すべての第1種特定製品 ・回収依頼書交付(3年 保管) ・引取証明書回付(3年 保管)		第1種特定製品配置 リストに記載	・1回/年(5月) ・1回/3ヶ月 (1.4.7.10月) ・1回/3年 ・廃棄時	-	-	-	-	環境安全T 推進者 総務T	・第1種特定製 品リスト ・簡易点検記録 ・点検整備記録 ・廃棄設備 (有 無) ・回収依頼書 ・引取証明書	○ ○ -
廃棄物処理法	・委託基準: 廃棄業者の 許可の確認 ・委託基準: 産業廃棄物 運搬・処理業者の 保管基準 ⇒法令規格に基づく 標識 ⇒飛散・浸透防止 および衛生管理 ・特別管理産業廃棄物 管理責任者選任 ・期日内処分完了時 の報告 ・紙マニフェスト交付 状況の報告	許可証の確認 許可証の確認 ・廃棄物保管場所 ⇒表示内容確認 ⇒2S管理 ・硝酸剥離液槽 ・排ガス処理装置 ・交付マニフェスト進捗 状況確認 ・マニフェスト交付状況 等年度報告	・江南市廃棄物の減量 及び適正処理に 関する 条例 ・小牧市廃棄物の減量 化、資源化及び適正 処理に関する 条例 県民の生活環境の 保全等に関する 条例	一般廃棄物全般 産業廃棄物全般 特別管理産業廃棄物 ・廃棄物保管場所	・1回/年(7月) ・1回/年(7月) ・1回/年(6月) ・1回/月 ・1回/年(6月)	-	-	-	-	環境安全T 環境安全T 推進者 事務局 環境安全T	・契約書 ・許可証 ・契約書 ・許可証 ・環境法令 現地調査 記録 ・修了証 ・マニフェスト 管理表 ・マニフェスト 交付状況等 年度報告書	○ ○ ○ ○ ○
家電リサイクル法	・特定家庭用機器 廃棄物の適正な管理	廃却時の引き取り証明文 書の発行		・冷蔵庫、テレビ、エアコ ン、洗濯機	廃棄時	-	-	-	-	総務T	・家電リサイ クル券	○
小型家電 リサイクル法	・使用済物品の適正な 管理	引取証明文書の発行		・パソコン、複写機、通信 機器	廃棄時	-	-	-	-	総務T	エコゆうバック 伝票	-
自動車 リサイクル法	・使用済自動車の適正な 管理	廃車時の証明書発行		・自動車	廃車時	-	-	-	-	総務T	・廃棄設備 (有 無) ・引取証明書 ・安全データ シート ・在庫管理表	-
労働安全衛生法	・化学物質の管理 (リスクマネジメント)	・SDSの最新版確認 ・保管・廃棄に係る記載 事項の遵守		・取扱化学物質全般	・1回/年(4月)	-	-	-	-	環境安全T	・安全データ シート ・在庫管理表	○
顧客要求	・CSR調査票(サプライ チェーン)回答	コーティング課 業務全般		・雇用、倫理、安全衛生、 環境	顧客要求時	-	○	-	-	伊ビデン(株) 監査統括部 コンプライアンス 推進G	・CSR調査票	○
顧客要求	・REACH則(Rohs則)指 定化学物質調査(非使用、 基準遵守等)	PEコーティング工程 ⇒使用原材料 調査、回答		・原材料、部品、包装材	顧客要求時	-	○	-	-	日本特殊陶業(株) 調達部 管理課	・環境負荷物質 管理調査票	○

保管: EA21事務局

伝達: 関連部署

・順守確認の結果、関係当局よりの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟等はありませんでした。

## 8. 環境活動報告

<p>改善テーマ</p> <p>産業廃棄物排出量削減 金属ゴミの分別リサイクル促進</p>													
<p>背景</p> <p>2023年度第2四半期の環境経営実績に於いて、産業廃棄物排出量が計画超過。増加要因を調査 金属ゴミの排出量増加(客先で不要となった当社修理治具等)</p>													
<p>抽出された問題点</p> <p>例えば、下図のような枠台車は、従来は混合廃棄物として産廃処理業者に委託していました。</p> 	<p>仕組み/方法の見直し</p> <p>可能な限り金属部分だけを分離し、金属リサイクル業者へ持ち込み、資源として売却するようにしました。</p> <p>* 自社工場間の運送経路上にある金属リサイクル業者に、配送のついでに寄ることにしました。(運送のコストは実質ゼロ円)</p>												
<p>改善効果</p> <p>1. 産業廃棄物としての排出量の削減 2023年度第4四半期 金属リサイクルへの持ち込み量 230 kg</p> <p>2. 効果金額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>効果金額</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業廃棄物排出量削減</td> <td>13,800</td> <td>処理単価@60/kg</td> </tr> <tr> <td>有価物としての買取</td> <td>8,815</td> <td>買取価格</td> </tr> <tr> <td></td> <td>22,615</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		費目	効果金額	根拠	産業廃棄物排出量削減	13,800	処理単価@60/kg	有価物としての買取	8,815	買取価格		22,615	
費目	効果金額	根拠											
産業廃棄物排出量削減	13,800	処理単価@60/kg											
有価物としての買取	8,815	買取価格											
	22,615												
<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動継続 : 年間で10万円程度の効果が見込める。</li> <li>・分別の細分化: 非鉄金属(ステンレス、アルミ)の仕分け ⇒買取単価が上がる。</li> </ul>													

## 9. 次年度中期目標(2024～2026年度)及び2024年の取組について

【2021年度からの3ヵ年目標の総括】

売上高の大幅増見込みに伴い、売上原単位比での削減目標を設定し、概ね達成したが、環境負荷項目と売上高との相関性については必ずしも高いとは言えず、総量削減目標をあらたに設定する必要がある。

【基本方針】

取組項目	環境経営方針に定めたすべての項目
基準年度	2023年度
期間	2024年度～2026年度
削減目標	基準年度比3%以上(年1%削減)

【数値目標】

環境経営方針	管理指標	単位	基準年 (2023年)	2024年	2025年	2026年
① 法令の遵守	法令順守率	%	100%	100%	100%	100%
② 二酸化炭素 排出量削減	CO2排出量	kg-CO2	390,524	386,619	382,714	378,809
	削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%
	電力消費量	kWh	697,942	690,963	683,983	677,004
	削減率	%		1.0%	2.0%	3.0%
	ガソリン消費量	ℓ	12,072	11,951	11,830	11,710
	削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%
	軽油消費量	ℓ	5,229	5,177	5,125	5,073
削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%	
③ 廃棄物削減	一般廃棄物排出量	kg	2,871	2,843	2,814	2,785
	削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%
	産業廃棄物排出量	kg	2,504	2,479	2,454	2,429
	削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%
	特管産業廃棄物排出量	kg	26,586	26,320	26,054	25,788
削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%	
④ 水使用量節減	水道水使用量	ℓ	480	475	470	466
	削減率(基準年比)	%		1.0%	2.0%	3.0%
⑤ 化学物質管理	化学物質管理表		月次管理	月次管理	月次管理	月次管理
⑥ グリーン購入推進	事務用品グリーン購入比率	%	66%	80%	80%	80%
⑦ 客先クレーム 低減	客先クレーム件数	件	4	3	3	3
	内重大クレーム件数	件	0	0	0	0
⑧ 粉体塗料 再利用促進	粉体塗料購入量	kg	1,268	1,255	1,242	1,230
	削減率(基準年比)	%		1%	2%	3%
⑨ 環境教育	環境教育訓練計画/実施記録		実施	実施	実施	実施
⑩ 社会的な 環境活動	会社周辺清掃活動(年1回)		実施	実施	実施	実施
	エコキャップ回収数	個	500	3,000	3,000	3,000

\*CO2排出計算に用いる排出係数

電力(中部電力)	0.426 kg-CO2/kWh
電力(日本テク)	0.501 kg-CO2/kWh
ガソリン	2.32 kg-CO2/ℓ
軽油	2.58 kg-CO2/ℓ

令和元年度実績  
(R3.1.7環境省・経済産業省公表、R3.7.19一部追加・更新)  
地球温暖化対策の推進に関する法律施行令  
(令和元年12月改正)における設定値

【2024年度の取組項目】

方針	取組項目	担当	適用範囲	具体的活動	実施時期
① 法令の遵守	見直し	管理責任者	全社	・環境関連法規取りまとめ表の見直し	10月/4月
	タスク管理	事務局	全社	・計画タスク表作成/納期遵守管理	月次管理
	環境測定	事務局 推進者	全社 村中	・騒音振動測定 ・排ガス濃度測定	年1回/6月 月次管理
	遵守評価	管理責任者	全社	・上記の遵守評価	年1回/期末
② 二酸化炭素排出量削減	電力消費量を削減	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	本社	・本社事務所・営業室の空調温度管理	随時
		推進者	本社	・不要時コンプレッサー電源OFF	随時
		推進者	村中	・加熱炉稼働計画による効率的生産	随時
		推進者	今市場	・無操業検査室の照明OFF	随時
		推進者	全社	・昼休憩中の消灯の推進	随時
	自動車燃料消費量を削減	管理責任者	全社	・省エネ型エアコンへの随時切替	中期計画
		管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎
		事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		事務局	全社	・エコドライブの推奨	随時
③ 廃棄物削減	事業系一般廃棄物排出量削減	推進者	今市場	・配送計画による効率輸送	随時
		管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎
		事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	全社	・ごみの分別/記録	月次管理
		事務局	全社	・段ボールのリサイクル	月次管理
	産業廃棄物排出量削減	事務局	全社	・機密文書リサイクル	年1回/12月
		管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎
		事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	全社	・ごみの分別/記録/manifest管理	月次管理
	特別管理産業廃棄物排出量削減	事務局	全社	・金属ゴミの種類ごと分別/有資格事業者への有価譲渡	月次管理
		管理責任者	全社	・委託契約見直し	中期計画
		管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎
		事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	本社/村中	・排出量の記録/manifest管理	月次管理
④ 水使用量削減	水道水使用量削減	推進者	村中	・スクラパー循環水ライフ延長	月次管理
		管理責任者	全社	・総合評価	四半期毎
		事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	全社	・ごみの分別/記録/manifest管理	月次管理
⑤ 化学物質管理	PRTR法指定化学物質の購入量/消費量/廃棄量管理	事務局	全社	・漏水の点検	年1回
		事務局	全社	・節水の啓蒙	随時
		事務局	全社	・使用材料のPRTR法該当調査	年1回/期首
		管理責任者	全社	・総合評価	半期毎
⑥ グリーン購入推進	事務用品のエコ商品購入推進	事務局	全社	・購入量・消費量・および廃棄量管理	月次管理
		推進者	全社	・SDS最新版への更新	年1回/4月
		管理責任者	全社	・購入材料の見直し	中期計画
⑦ 客先クレーム低減	クレーム低減/重大クレーム発生ゼロ	事務局	全社	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	全社	・エコ対象商品調査/発注の見直し	年1回/1月
		推進者	全社	・総合評価	四半期毎
		事務局	今市場	・パフォーマンス管理	月次管理
		推進者	今市場	・検査員教育	10月/4月
⑧ 粉体塗料再利用促進	粉体塗料新品使用量削減	推進者	今市場	・改善提案推奨/件数記録	月次管理
		推進者	今市場	・客先品質不適合のフィードバック	月次管理
		管理責任者	今市場	・総合評価	四半期毎
		事務局	村中	・パフォーマンス管理	月次管理
⑨ 環境教育	従業員の環境への意識向上	推進者	村中	・集塵機からの回収(1/週)	月次管理
		推進者	村中	・塗装ブースの改良	中期計画
		管理責任者	村中	・総合評価	四半期毎
		事務局	管理職	・環境問題の現状、環境経営の必要性の教育	5月
⑩ 社会的な環境活動	社会的な環境活動	事務局	新入社員	・当社の環境活動方針周知	配属時
		事務局	推進者	・環境一般教育	11月
		事務局	全従業員	・環境緊急事態対応訓練	9月
		事務局	全社	・会社周辺の清掃活動	年1回以上
		推進者	全社	・エコキャップ推進活動	随時

# 10. 代表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し(事業年度終了後)  
□臨時見直し

実施日: 2023年11月9日

見直しに必要な情報 管理責任者の報告及び改善への提案				代表者による見直し 変更の必要性の有無・指示事項																																																																											
<b>[取り組み状況の評価結果]</b> ① 環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による) 順守違反なし。 ② 問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・発行件数2件: 1) 産業廃棄物排出量は、3R推進(金属ゴミ)により 通期目標達成できた。 2) グリーン購入について、エコ名刺導入検討を来季課題とする。 ③ 環境経営計画の評価(環境経営計画書・評価記録による) (1) 2022年度目標未達成案件 ・水道水使用量 ・グリーン購入比率 ④ 前回までの代表者の指示事項への対応 環境経営目標の見直し ⇒水道水使用量 * 使用目的が生産量と相関するとは考えられないため総量削減目標とする。 ⇒産業廃棄物排出量 直近2年実績(大幅超過)の要因調査し、目標再設定 * 3R推進(金属ゴミの分別リサイクル) <改善への提案> 水道水使用量の増加について、今市場工場の後半期増加要因を調査すること。 (人増加以外の要因)				<b>[環境経営方針]</b> 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 新規事業の環境負荷を調査し、環境経営方針に反映する。																																																																											
<b>[環境経営目標・環境経営計画の達成状況]</b> (詳細は環境経営計画書による)				<b>[環境経営目標・環境経営計画]</b> 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (1) 中期計画 2024年度から3か年の目標設定をする。 * 原単位比削減目標設定を廃止し、当年度を基準年度とした新たな総量削減目標を設定する。																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標達成</th> <th>取組評価</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・経営計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 法令遵守</td> <td>遵守率100%</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>タスク管理が定着</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② CO2排出量削減</td> <td>電気使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>省エネ活動推進により大幅削減</td> </tr> <tr> <td>自動車燃料削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>効率輸送が定着</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③ 廃棄物削減</td> <td>CO2総排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原単位比では基準年比で25%削減</td> </tr> <tr> <td>事業系一般廃棄物削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>段ボール、コピー用紙リサイクル推進</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物削減</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>金属ゴミ分別リサイクル(産廃としての排出減)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 水使用量削減</td> <td>特別管理産業廃棄物削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>スクラパー循環水ライフ延長により排出削減</td> </tr> <tr> <td>全社的節水活動</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>水道水使用量増加原因把握中</td> </tr> <tr> <td>⑤ 化学物質適正管理</td> <td>化学物質適正管理</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>特記事項無</td> </tr> <tr> <td>⑥ グリーン購入推進</td> <td>エコ商品購入比率</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>エコ名刺の導入を検討</td> </tr> <tr> <td>⑦ 不良検出精度維持向上</td> <td>客先クレーム低減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>改善提案による予防措置</td> </tr> <tr> <td>⑧ 材料消費低減</td> <td>粉体塗料再利用促進</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>回収は実施しているが再利用に品質上の制約がある。</td> </tr> <tr> <td>⑨ 従業員の環境への意識向上</td> <td>環境教育実施</td> <td>○</td> <td>△</td> <td>新人教育以外未実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑩ 社会活動</td> <td>工場周辺清掃</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>特記事項無</td> </tr> <tr> <td>エコキャップ回収活動</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>回収量目標未達成</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標達成	取組評価	コメント (目標値に対するコメント・経営計画に対するコメント)	① 法令遵守	遵守率100%	○	○	タスク管理が定着	② CO2排出量削減	電気使用量削減	○	○	省エネ活動推進により大幅削減	自動車燃料削減	○	○	効率輸送が定着	③ 廃棄物削減	CO2総排出量削減	○	○	原単位比では基準年比で25%削減	事業系一般廃棄物削減	○	○	段ボール、コピー用紙リサイクル推進	産業廃棄物削減	○	△	金属ゴミ分別リサイクル(産廃としての排出減)	④ 水使用量削減	特別管理産業廃棄物削減	○	○	スクラパー循環水ライフ延長により排出削減	全社的節水活動	×	×	水道水使用量増加原因把握中	⑤ 化学物質適正管理	化学物質適正管理	○	○	特記事項無	⑥ グリーン購入推進	エコ商品購入比率	×	△	エコ名刺の導入を検討	⑦ 不良検出精度維持向上	客先クレーム低減	○	○	改善提案による予防措置	⑧ 材料消費低減	粉体塗料再利用促進	○	△	回収は実施しているが再利用に品質上の制約がある。	⑨ 従業員の環境への意識向上	環境教育実施	○	△	新人教育以外未実施	⑩ 社会活動	工場周辺清掃	○	○	特記事項無	エコキャップ回収活動	×	○	回収量目標未達成	<b>[実施体制]</b> 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (1) 新規事業の追加 ・ロボットエンジニアリング事業部(本社工場) (2) ホールディングス化 ・2023年10月より、R&Vホールディングス株式会社を持株会社とするホールディングス化予定。 ⇒R&Vホールディングスとしての一括認証を進める。	
目標項目	目標達成	取組評価	コメント (目標値に対するコメント・経営計画に対するコメント)																																																																												
① 法令遵守	遵守率100%	○	○	タスク管理が定着																																																																											
② CO2排出量削減	電気使用量削減	○	○	省エネ活動推進により大幅削減																																																																											
	自動車燃料削減	○	○	効率輸送が定着																																																																											
③ 廃棄物削減	CO2総排出量削減	○	○	原単位比では基準年比で25%削減																																																																											
	事業系一般廃棄物削減	○	○	段ボール、コピー用紙リサイクル推進																																																																											
	産業廃棄物削減	○	△	金属ゴミ分別リサイクル(産廃としての排出減)																																																																											
④ 水使用量削減	特別管理産業廃棄物削減	○	○	スクラパー循環水ライフ延長により排出削減																																																																											
	全社的節水活動	×	×	水道水使用量増加原因把握中																																																																											
⑤ 化学物質適正管理	化学物質適正管理	○	○	特記事項無																																																																											
⑥ グリーン購入推進	エコ商品購入比率	×	△	エコ名刺の導入を検討																																																																											
⑦ 不良検出精度維持向上	客先クレーム低減	○	○	改善提案による予防措置																																																																											
⑧ 材料消費低減	粉体塗料再利用促進	○	△	回収は実施しているが再利用に品質上の制約がある。																																																																											
⑨ 従業員の環境への意識向上	環境教育実施	○	△	新人教育以外未実施																																																																											
⑩ 社会活動	工場周辺清掃	○	○	特記事項無																																																																											
	エコキャップ回収活動	×	○	回収量目標未達成																																																																											
<改善への提案>				<b>[その他]</b> 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (1) 環境関連法規等の取りまとめ/遵守評価記録 ・対象範囲(事業所、設備等)を明確にする。 ・取りまとめ表を遵守評価記録として運用(管理番号統一) (2) 目標対比管理表(電気/自動車燃料/水道水/廃棄物) ・環境経営計画/遵守評価記録とのリンク設定 (手入力やコピー&ペーストによる誤入力防止)																																																																											
<b>[周囲の変化の状況]</b> ① 外部コミュニケーション記録より 2023/4/5 環境負荷物質含有量調査(第28次SVHC:233物質) 2023/9/28 サステナビリティ調達ガイドラインへの適合回答 ② 環境関連法規制等の動向他 労働安全衛生規則 :2024年4月施行(第12条の5) 化学物質管理者(第12条の6) 保護具着用管理責任者				<b>[総括]</b> 2021年からの3か年目標について、生産計画の大幅増見込みに伴い、削減目標を売上原単位比で設定し、概ね達成という結果になったが、売上高が見込み以上に増加したことで、負荷総量は基準とした年度(2020年度)より増加しました。また、環境負荷量と売上高との相関性は必ずしも高くないことも分かりました。ゆえに、今後の環境負荷削減活動の取組は今年度実績を基準として、『総量削減目標』を新たに設定し、達成のために努力してまいります。																																																																											
				<b>[代表者が自ら得た情報]</b> 特にありません。																																																																											